

Profile

指揮 阪 哲朗 Tetsuro Ban, Conductor

京都市立芸術大学作曲専修を卒業後に渡欧。ウィーン国立音楽大学指揮科在学中よりビール市立歌劇場専属指揮者となり、これまでに、ブランデンブルク歌劇場専属第1指揮者、ベルリン・コーミッシェ・オーパー専属指揮者、アイゼナハ歌劇場ならびにレーゲンスブルク歌劇場で音楽総監督を歴任。おもにドイツ、オーストリア、スイスなどで約40に及ぶオーケストラ、歌劇場に招かれて成功を収めている。日本国内においても、多くのオーケストラ公演やオペラ公演を指揮。山形交響楽団とは2023年から演奏会形式オペラシリーズをスタートさせ、インターネットでの配信も行い、新たなファンを獲得している。

現在、山形交響楽団常任指揮者、びわ湖ホール芸術監督、京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。1995年ブザンソン国際指揮者コンクール優勝。2024年芸術選奨文部科学大臣賞ほか受賞多数。



©Kazuhiro Suzuki

ヴァイオリン 吉本 梨乃 Rino Yoshimoto, Violin

2003年神戸生まれ。14歳からウィーン国立音楽大学でミハエル・フリッセンシュラガー教授に師事。17歳からエリザベート王妃音楽院でオーギュスタン・デュメイ氏に師事。

第16回パドバ国際音楽コンクール部門優勝、全部門グランプリを受賞。2022年の第3回アイザックスターン国際コンクールファイナリスト、第10回フリッツ・クライスラー国際コンクールで第2位受賞。2025年、第58回パガニーニ国際コンクールで第2位受賞。

2021年、ウィーンコンツェルトハウスでウィーン室内管弦楽団と共演。2022年、ウィーン室内合奏団とのスペインツアーで好評を得る。以後、ウィーン放送交響楽団、ブルガリア国立放送交響楽団、上海交響楽団、日本フィルハーモニー管弦楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演を重ねている。

2020、2021年度ローム音楽財団奨学生。
使用楽器は笹川音楽財団(旧日本音楽財団)より貸与されているストラディヴァリウス1736年製「ムンツ」。



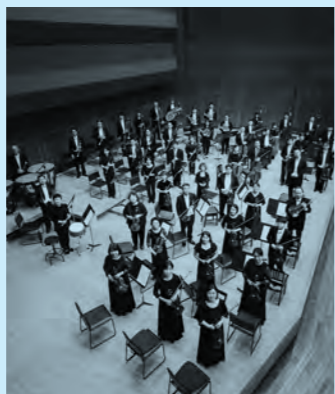
©Keiji Fujita

山形交響楽団 Yamagata Symphony Orchestra

1972年、東北初のプロ・オーケストラとして誕生。東京・大阪での「さくらんぼコンサート」など年間150回に及ぶ公演を実施している。

2007年から2015年まで「アマデウスへの旅」(モーツァルト交響曲全曲演奏会)を開催し、2017年「モーツァルト交響曲全集」CDを発売。2008年アカデミー賞映画「おくりびと」に出演。2020年より「ベートーヴェン交響曲全曲演奏会」を、2022年には「演奏会形式オペラシリーズ」をスタート。常任指揮者 阪哲朗とのオペラ演奏は高い芸術性と個性を育み、その成果は常に注目を集めている。2023年12月より動画配信サービス「U-NEXT」での映像配信を開始。

常任指揮者 阪哲朗、首席客演指揮者 鈴木秀美、ミュージック・パートナー ラデク・バボラーク、ジュリアン・ラクリン、創立名誉指揮者 村川千秋、桂冠指揮者 飯森範親、名誉指揮者 黒岩英臣。



©Kazuhiro Suzuki

ホームページ
www.yamakyō.or.jp

X (旧 Twitter)
@y_symphony

Facebook
yamagatasymphony

Instagram
@yamagatasymphony



吹奏楽 村山市立楯岡中学校吹奏楽部

私たち楯岡中学校吹奏楽部は、誰もが感動する楯岡サウンドを目指し、日々の活動に取り組んでいます。今回も、山形交響楽団の皆さんとの共演という貴重な機会をいただけたこと、深く感謝しております。例年同じステージに立てる喜びをかみしめながら、多くを学び、その経験を今後の成長につなげていきたいと考えています。これからも地域に愛される吹奏楽部を目指して努力していきます。



吹奏楽 村山市立葉山中学校吹奏楽部

今年度は2年生2名・3年生5名、計7名で活動しています。たくさんの方々に支えられて活動ができることに感謝の気持ちを持ち続け、日々活動しています。昨年度から楯岡中学校さんと平日からの活動から合同で活動しています。学校行事は7名で、コンクールは大人数で演奏をします。7名でも大人数に負けないような葉山中サウンドを創り上げます。これからも地域の方々に愛され、応援される吹奏楽部を目指して活動していきます!



合唱 村山市立楯岡小学校合唱部

創部46年目を迎える楯岡小学校合唱部。今年は、コンクール出場の他に、10月には、東京二期会のオペラ「カルメン」に児童合唱として出演させていただきます。大きな舞台上で堂々と歌い演じられるよう、しっかりと練習に取り組んでいきます。今年のスローガンは「仲間 勇気 笑顔 It's sing time!」歌っている自分も、聴いてくださるお客さんも、笑顔になれる演奏をめざしてがんばります。



合唱 村山混声合唱団「フェブリエ」

村山混声合唱団「フェブリエ」は、毎年コンサートを開催しています。昨年は結成40周年の記念コンサートでした。「山に祈る」の朗読を山形県出身の俳優、渡辺入りさんをお願いして、会場は満席のお客様で、歴史に残る最高のコンサートとなりました。年齢層は幅広く、職業も様々な合唱団。年々団員が増えてきて、毎週水曜日の練習は楽しく賑やかです。地域の音楽活動にも積極的に参加しています。



合唱 村山市女声コーラス

昭和48年「せせらぎコーラス」として発足し、平成2年「村山市女声コーラス」と名称を変更して、今年で53年目になります。団員は11名と少人数ですが、長年活動している人が多数います。山形県女声コーラス連盟の大会に毎年参加して発表しています。



合唱 北悠合唱団フリージア

17年ほど前に北村山地区小・中学校の校長を退職し、音楽を愛する人々が集まって、男声合唱を楽しんでいるグループです。今は、誰でも入会できるようになりました。特に、学校を訪問し、子供たちに合唱の素晴らしさ、夢・希望を与えてきました。最近では、高齢者施設なども訪問し交流しています。



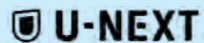
合唱 むらやま少年少女合唱団「ルミネア・クラルテ」

むらやま少年少女合唱団「ルミネア・クラルテ」は、今年で結成三年目です。村山市をはじめ近隣から合唱の好きな仲間が集まり、今までは女子だけの合唱団でしたが、今年度は男子も入り、団員は16名になりました。今では、いろいろなコンサートに出演する機会があり、勉強や部活と両立しながら、「いつか自分たちのステージを！」を目標にみんなで楽しく練習しています。



山形交響楽団映像配信のご案内

動画配信サービス



https://tunext.jp/r/yamakyō



山形交響楽団公式
YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/
c/yamagataSymphonyOrchestra



山響 Your Town Concert

村山公演



2026 5/17日

村山市民会館 大ホール 15:00開演 ※14:45より
プレ・コンサート・トーク

主催/公益社団法人 山形交響楽協会、村山市、村山市教育委員会、村山市民会館

特別協賛/ 山形新聞社 YBC山形放送 smf Sasakawa Music Foundation 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

協力/笹川音楽財団 特別協力/日本財団

後援/山形県、山形県教育委員会、村山市芸術文化協議会、村山市社会音楽連盟、山形新聞・山形放送、山形テレビ、テレビユー山形、さくらんぼテレビ、NHK山形放送局、ダイバーシティメディア、朝日新聞山形総局、毎日新聞山形支局、読売新聞山形支局、日本経済新聞社山形支局、産経新聞山形支局、河北新報社、エフエム山形

助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
独立行政法人日本芸術文化振興会



お客様へのお願い

- 演奏中に時計や携帯電話のアラーム等が鳴らないよう、いま一度ご確認ください。また、携帯電話の電源はお切りください。
- 演奏中の出入りはお遠慮ください。
- 会場内での飲食、録音・録画、演奏中の写真撮影は固くお断りいたします。
- 手荷物、傘、チラシ類などの物音、私語、キーホルダーの鈴やアメの包み紙の音等、他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願いいたします。周囲のお客様の通行・視界の確保にもご配慮ください。



Program

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」K. 492 序曲

Mozart:Le nozze di Figaro (The Marriage of Figaro), K. 492: Overture

シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調「春」

シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調「春」作品38

Schumann:Symphony No. 1 in B-Flat Major, Op. 38, "Spring"

- Andante un poco maestoso - Allegro molto vivace - Animato
- Larghetto -
- Scherzo: Molto vivace - Trio
- Allegro animato e grazioso

ヴェルディ：歌劇「アイーダ」

休憩 Intermission 15分

シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調「春」

J. シュトラウスⅡ世：ワルツ「春の声」作品410

Johann Strauss II:Frühlingsstimmen (Voices of Spring), Op. 410

クライスラー：ウィーン古典舞曲集 より

第1番「愛の喜び」/ 第2番「愛の悲しみ」/ 第3番「美しきロスマリン」

Kreisler:3 Old Viennese Dances: No. 1. Liebesfreud / No. 2. Liebesleid / No.3. Schön Rosmarin

パガニーニ：ヴァイオリン協奏曲 第2番

第3楽章 ロンド「ラ・カンパネッラ（鐘）」

Paganini:Violin Concerto No. 2 in B Minor, Op. 7: III. Rondo: "La Campanella"

ヴェルディ：歌劇「アイーダ」

第2幕 "凱旋行進曲"

Verdi:Aida, Act II: Marcia (Triumphal March)

〔吹奏楽〕 福岡中学校吹奏楽部・葉山中学校吹奏楽部

半崎 美子：地球へ

半崎 美子：地球へ

Yoshiko Hanzaki:Dear Earth

平吉 毅州：気球にのってどこまでも

平吉 毅州：気球にのってどこまでも

Takekuni Hirayoshi:Kikyu ni notte dokomademo

佐藤 眞：混声合唱のための組曲『蔵王』より

「蔵王讃歌」「早春」

Shin Sato:Choral Suite "Zao": "Hymn to Zao" / "Early Spring"

〔合唱〕 福岡小学校合唱部・村山混声合唱団「フェブリエ」・村山市女声コーラス・北悠合唱団フリージャ

むらやま少年少女合唱団「ルミネア・クラルテ」

指揮：阪 哲朗

指揮：阪 哲朗 Tetsuro Ban, Conductor

コンサートマスター： 犬伏 亜里

コンサートマスター： 犬伏 亜里 Ari Inubushi, Concertmaster

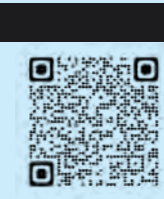
アンケートご協力をお願い

携帯、スマートフォンから簡単アクセス!

山形交響楽団では、皆さまにより良い演奏をお届けするため、

アンケートを実施しております。

右の二次元コードよりアンケートへのご協力をお願いいたします。



舞台上のカーテンコールを撮影していただけます

一度退場した指揮者・ソリストが再登場したら撮影が可能です。SNSに掲載する際は、ハッシュタグ「#山響」「#山形交響楽団」をつけてコンサートの感想をお願いします!（他のお客様の映り込みにはご注意ください。）

■アンコール演奏中の撮影はご遠慮ください。

■撮影はご自席からとし、カメラを高く掲げる、自撮り棒・三脚・望遠レンズ等を使用するなど、周囲のお客様のご迷惑となるような行為はお控えください。

■撮影前にフラッシュの設定が「オフ」になっているかご確認をお願いいたします。

■演奏中はスマートフォン、携帯電話の電源をお切りください。



Program Note

モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」K. 492 序曲

シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調「春」

「フィガロの結婚」は、今日世界中で上演されているモーツァルトのオペラのうちでも、もっとも広く親しまれているものです。物語は、理髪師のフィガロとその花嫁である小間使いのズザンナが、才智をめぐらして好色な殿様から一本を取る、という楽しいものです。序曲は、序奏なしに速い速度で開始されます。ファゴットと弦楽器による笑いさざめくような主題をもとに快活に機嫌よく進み、高音の管楽器がそれを受け、それらをもう一度繰り返すと全奏になり激しい音の流れになります。民謡風な第2テーマののどかな歌が、やはりファゴットとヴァイオリンにより提示されます。短いつなぎのあと主部が再現します。コーダは力を込めて書かれ、生命力に満ちた盛り上がりを見せます。歌劇全曲の雰囲気を見事に伝える傑作です。

シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調「春」

J. シュトラウスⅡ世：ワルツ「春の声」作品410

クライスラー：ウィーン古典舞曲集より

シューマンは、指揮者タウバートに次のような手紙を送っています。「この交響曲を書いたとき、自分の頭には春の憬れというものがあった。これをあなたのオーケストラで表してほしい。最初のトランペットは、あたかも天空から呼びかける覚醒のように響かせてほしい。次の序奏部の残りでは、あたりがすべて緑になりはじめ、すべてのが春めいてくる。それから最後の楽章は春の別れを暗示したものである…。初めは各楽章のそれぞれに「春のはじめ」「たそがれ」「楽しい遊び」「春たけなわ」という標題が付いていましたが、のちに削除されました。第1楽章は2本のトランペットと2本のホルンのユニゾンの導入部で開始されます。これは、主部の第1主題と共通の素材で成っていて、いかにも明るい春の気分 to 満ちあふれた楽章です。第2楽章は限りなく静かで美しく、しかし悲しくはない「たそがれ」。第3楽章はスケルツォ。シューマン得意の幻想的小曲といえるでしょう。第4楽章は第1楽章と動機的に深い関連を持ちます。展開部の終わりには、フルートが小鳥のカデンツァを奏で、曲は次第に歓喜が盛り上がり、春をたたえる歌を高唱して終わります。

ヴェルディ：歌劇「アイーダ」

J. シュトラウスⅡ世：ワルツ「春の声」作品410

クライスラー：ウィーン古典舞曲集より

シュトラウスは1883年ブダペストにいました。ある日、晩餐会に招かれた彼は、そこでリストと同席することになりました。父ヨハン1世とも親しかったリストが、余興にその家の女主人と連弾を楽しむのを聴いているうちに、彼は即興的にワルツを作り上げ、さらにその場に居合わせた脚本家のジェネーが、これも即興的に詞をつけてできたのがこの曲です。歌曲の初演はソプラノのピアンキによって行われ、管弦楽版はその2週間後に行われました。3回目の幸せな結婚へ結びつく時期のためか、作曲者58歳とは思えない若々しい曲になりました。

佐藤 眞：混声合唱のための組曲『蔵王』より

クライスラー：ウィーン古典舞曲集より 第1番「愛の喜び」、第2番「愛の悲しみ」、第3番「美しきロスマリン」

平吉 毅州：気球にのってどこまでも

本日の3曲は、もとはヴァイオリンとピアノのための小品です。別々の機会に作られました but、現在ではまとめて「ウィーン古典舞曲集」として演奏会で取り上げられる機会が増えています。3曲を並べると急－緩－急となって、古典的な協奏曲やソナタなどの構成に近いこともあるかもしれませんが。「愛の喜び」は、文字通り喜びを表す晴れやかな作品、「愛の悲しみ」は、ヴァイオリンが憂いを帯びた旋律を奏でます。「美しきロスマリン」の「ロスマリン」とは、ハーブとして有名なローズマリーのこと。しかし、

ここではロスマリンは花の名前というよりも、むしろ美しい女性、愛らしい女性の象徴として用いられているようです。パッセージの速度の変化が奏者の音楽性のひとつの聴き所となっています。

パガニーニ：ヴァイオリン協奏曲 第2番

第2番 ロ短調 作品7より 第3楽章 ロンド「ラ・カンパネッラ（鐘）」

ヴェルディ：歌劇「アイーダ」

パガニーニの誰もまねられないヴァイオリンの超絶的で華麗な技巧は、それだけでも聴衆を魅了した訳ですが、それに加えて、イタリアならではの感覚的な透明な叙情が美しい歌謡性をもつメロディにあふれています。当時、その魅力にひかれた大衆はもとより貴婦人たちまでが、彼の馬車を追って公演先を追いかけたという逸話が残っています。彼の6曲のヴァイオリン協奏曲の中で、本日演奏されるのは第2番の第3楽章で、ロンド「ラ・カンパネッラ」という標題が付いています。独奏ヴァイオリン中心の最も魅力的な部分で、全作品中の白眉と言えます。この有名なテーマは、のちにリストがピアノの技巧的な曲として編曲し、その美しいメロディがより知られるようになりました。

ヴェルディ：歌劇「アイーダ」

第2幕 "凱旋行進曲"

エチオピアとエジプトの戦争で、エジプトの奴隷となったエチオピア王女アイーダは、いつしかエジプトの若い將軍ラダメスと深く愛し合う間柄となりました。やがてエジプトは勝利をおさめます。ここで演奏されるのが凱旋行進曲です。エチオピア軍を破って凱旋してきた若い將軍ラダメスと兵士たちを迎える華麗な音楽です。神と祖国をたたえる大合唱が素晴らしく、この歌劇の中でも特に豪華な盛り上がりを見せる場面として有名です。

半崎 美子：地球へ

半崎 美子：地球へ

Yoshiko Hanzaki:Dear Earth

平吉 毅州：気球にのってどこまでも

2005年に急性骨髄性白血病のため38歳で急逝した、歌手の本田美奈子。彼女が闘病中に遺した散文「地球へ」は、自然との共生を願い書き記したもので、現在に繋がる環境問題への提言ともいえる内容です。それを元にシンガー・ソングライターの半崎美子が同名の新たな楽曲「地球へ」を制作。さらに、それを早見優が英語バージョンとして英詞を作り、世界へと配信させました。

平吉 毅州：気球にのってどこまでも

平吉 毅州：気球にのってどこまでも

平吉毅州は、子どもたちへ向けたピアノ曲や合唱曲を数多く残し、そのいくつかは教科書へ採用されるなど音楽教育へ大きく貢献しました。この曲は、1974年の第41回NHK全国学校音楽コンクール小学校の部の課題曲として生まれた作品です。平吉の代表作であり、知名度も非常に高いものです。もちろん多くの教科書に掲載されました。広い大空や宇宙への旅を夢見て、未知の世界を探検する楽しさが歌われます。親しみやすいメロディと夢いっぱい of 歌詞が特徴で、多くの子どもたちに愛されています。

佐藤 眞：混声合唱のための組曲『蔵王』より

「蔵王讃歌」「早春」

佐藤 眞：混声合唱のための組曲『蔵王』より

佐藤眞の名前は、混声合唱組曲「蔵王」、「旅」、カンタータ「土の歌」によって、合唱界では知らない人がいないくらい有名です。ことに、土の歌の終曲「大地讃頌」は、合唱祭等の合同曲として、多くの大会で歌われるほど愛唱されています。本日演奏される「蔵王讃歌」「早春」は、雄大な蔵王の見所を大きなスケールで描いた組曲「蔵王」の第1曲と終曲です。わかりやすいメロディを見事なハーモニーで盛り上げる筆致が聴き所でしょう。